

2004年度 大学教育問題全学講演会

F Dの目標を学習共同体としての大学・学部の復権ととらえることができる
るとすれば、個々の教員の個人的努力のみではその達成がおぼつかないこと
は言うまでもない。教員集団による組織的教育改善に加えて、教員と事務職
員の間の連携強化、教員・事務職員と学生の間でのコミュニケーションの改
善なども重要になってくる。授業改革に向けて学生との協議を制度化したり、
「授業評価」を学生主導で実施しているケースも見受けられる。

年度初めの恒例行事となっている大学教育問題全学講演会に、今回は、教
員、事務職員、学生による「三位一体型F D」を展開してきていることで知
られる岡山大学から橋本勝先生をお招きして、その経験に学びたい。

【日 時】2004年4月8日（木）16：30～17：30

【会 場】愛知大学車道校舎 本館3階 コンベンションホール

【テーマ】「三位一体型F Dの経験と課題」

【講 師】橋 本 勝 氏

（岡山大学教育開発センター 教授）

【共 催】愛知大学 愛知大学F D委員会

多数の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

《橋本 勝氏のプロフィール》

1955年石川県生まれ。京都大学経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科
（博士課程）単位取得退学。1992年岡山大学教育学部講師・助教授を経て、2003
年4月より岡山大学教育開発センター教授（カリキュラム研究開発部門長、学
生・教員F D検討会教員側代表）。他に、国立大学協会第8常置（評価）委員会
専門委員、大学評価・学位授与機構大学評価準備委員会専門委員などを兼務。

問合せ先：愛知大学総合企画課
TEL (0532)47 - 4148